

「検針票」をよく見てね! ムダ(漏水)が生じていませんか?



Dr. すいどー
(引用) 水道PR
パッケージ

- ⑤ 今回の使用量のほか、参考として前回使用量、前年同月使用量を記載しています
- ⑥ 今回請求する金額を記載しています
- ⑦ 振替予定日を記載しています

★納付書から口座振替へお支払方法を変更される場合は、お客様のお取引のある金融機関で、備え付けの所定用紙にご記入の上、提出してください。



水道料金・下水道使用料等のお知らせ	
① 令和3年2月検針分 (1月使用分)	
検針番号	② 検針日
3-0987654	令和3年 2月 5日
③ 検針器番号	④ 検針器口径
00市0010-5	13 m/m
マンション△△205	一般用
検針器ID	123456789
水道 太郎 様	
水	今回の検針
道	前回の検針 (-)
	旧メーターの使用量 (+)
	今回の使用量
	120 m³
	100 m³
	* m³
	20 m³
(参考) 前回使用量 24 m³ 前年同月使用量 20 m³	
下水道	水道分使用量
	その他使用量
	今回の使用量
	* m³
	* m³
	* m³
水道料金	4,510 円
くうち消費税込当額	410 円
下水道使用料	* 円
くうち消費税込当額	* 円
検針手数料	* 円
ご請求予定額	⑥ 4,510 円
⑦ 上記金額の口座振替日は、令和3年 3月 1日です	
検針番号 12340-56.78 検針員 検針 太郎	
(お客様へ)	
⑧ 「水漏れかもしれません、お調べください」「普段より多くお使いです。お調べください」等	
口座振替済みのお知らせ	
⑨ 令和3年1月検針分 (12月使用分)	
水道料金	5,742 円
下水道使用料	* 円
検針手数料	* 円
合計金額	5,742 円
振替日	令和3年 1月27日
上記の金額を口座振替させていただきました。ありがとうございます。	
お問い合わせ先 淡路広域水道企業団 ●●市お客さまセンター ☎ 0799-●●-●●●● 裏面もご確認ください	

- ① 今回請求する水道使用月を記載しています
- ② 検針した日を記載しています
- ③ お客様のご契約番号を記載しています
※各種お問い合わせの際はこの番号をお伝えください
- ④ ご契約内容を記載しています



- 水量の異常はないですか?
⑧ 企業団からお伝えしたいメッセージを記載しています
※メッセージが記載されている場合は、必ずご確認をお願いします

- ⑨ 先月の振替日及びいただいた料金を記載しています

あわじの水道

第5号
2021.2

～命をつなぐ
未来につなぐ
あわじの水道～

編集・発行 淡路広域水道企業団
〈本庁〉〒656-0452 南あわじ市神代浦壁792番地6
TEL:0799-42-5896 FAX:0799-42-5897
メールアドレス: kigyoudan@awaji-suido.jp
ホームページURL: http://awaji-suido.jp/
ツイッターアカウント: @akskigyoudan



曲田山浄水場 (洲本市山手)

○ 平日のお問い合わせ先 (営業時間 8時30分～17時15分)

洲本市お客さまセンター	電話 0799-24-7620	〒656-8686 洲本市本町三丁目4番10号 【洲本市役所 本庁舎2階】
南あわじ市お客さまセンター	電話 0799-43-3038	〒656-0472 南あわじ市市善光寺22番地1 【南あわじ市役所 第1別館内】
淡路市お客さまセンター	電話 0799-64-1780	〒656-2225 淡路市生穂新島8番地 【淡路市役所1号館1階】

※給水申込・水道料金のお支払いについては、各市のお客さまセンターまで。
※急な断水等についてはツイッターで紹介しています。 洲本市サービスセンター @awajisuidoss
南あわじ市サービスセンター @awajisuidomsc
淡路市サービスセンター @awajisuidoasc

- 休日のお問い合わせ先 (営業時間 8時30分～17時15分 年末年始を除く)
- 営業時間外・夜間の連絡先 (緊急の場合など) ※電話受付24時間対応

統括お客さまセンター	電話 0799-53-6741	〒656-0026 洲本市栄町三丁目3番5号 【中野ビル東館2階】
------------	-----------------	--------------------------------------

※統括お客さまセンターでは水道料金等のお支払いはできません。



令和2年10月30日に、日本水道協会兵庫県支部主催で応急給水実務訓練を行いました。参加事業体32団体、参加人数83人で宇原浄水場での給水車への補給訓練、洲本市防災公園での給水タンクやバルーンへの給水訓練等を行いました。

災害時においても、各事業体が協力して、迅速な応急対策活動ができるよう、作業手順などを確認しました。

淡路広域水道企業団統合10周年を迎えて



企業団統合10周年を迎えて

淡路広域水道企業団 企業長 **竹内通弘**

淡路広域水道企業団は、平成22年4月に島内3市の水道事業を統合し、本年度おかげさまで10周年を迎えることができました。

昭和54年に淡路地域（当時1市10町）は、水不足に対処するために淡路広域水道協議会を設立、昭和57年に島内各市町に水道用水を供給する一部事務組合として淡路広域水道企業団が誕生しました。その後、大日・牛内ダムの建設や本土導水により、慢性的な水不足が解消され、安全で安心な水を安定してお届けできるようになりましたが、今日、本企業団の水道事業は大きな転換期に直面しています。

浄水施設や水道管は、老朽化により大量更新の時期を迎えており、一方、人口減少に加えて、水需要は節水意識の高まりや節水型機器の普及等により減少傾向にあり、水道事業の経営状況は厳しくなっています。また、東日本大震災などを教訓とし、水道管の耐震化や非常時に備えた危機管理対策が求められています。

本企業団は安全で安心な水を安定してお届けするため、平成28年度に策定した「経営戦略」をより実効性のある計画に見直し、効率的で健全な水道事業経営に取り組んでまいります。

この統合10周年を機に、島民の皆様により一層満足していただける給水サービスに努めてまいりますので、今後とも御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

水の利用が減っています

10年のあゆみ

淡路島の人口は、全国的な人口減少に加え、進学・就職による島外への人口流出が人口減少の大きな社会的要因となっており、それに伴って給水人口も減少しています。

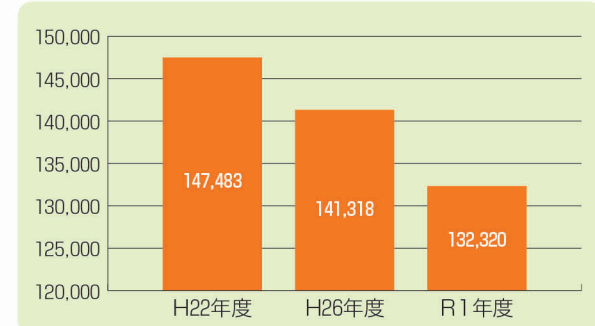
このような状況の中、淡路広域水道企業団ではダムや本土導水による安定給水の確保、浄水場の設備更新による水質向上、人件費の抑制や外部委託による費用の削減を図り、発足より10年間は黒字決算となっております。

今後の課題

人口減少に加えて、節水機器の普及等による家庭での一人当たりの使用水量も減少していますので、10年間で配水量（蛇口等から供給された水量）は約10%減少しています。

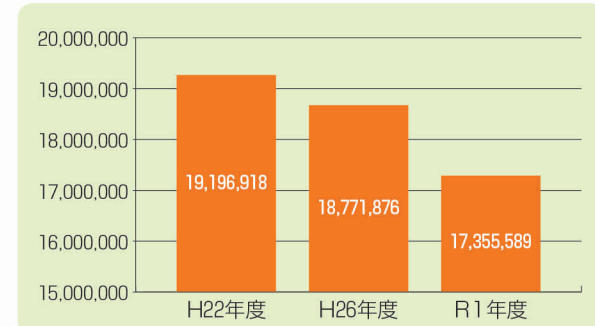
水道事業は、水道料金を主な収入として独立採算事業で運営されていますので、人口減少等により配水量が減少することに伴い料金収入も減少し、水道事業の経営状況は厳しくなっています。更なる経営の効率化を図り、経営基盤の強化に努めてまいります。

① 給水人口の推移 (単位：人)



※「給水人口」とは、水道水を使用している人の数のことを指します。現在は井戸水だけで生活している方は少なくなり、人口とほぼ同じになります。

② 年間配水量の推移 (単位：m)



水道管や浄水場が古くなっています

10年のあゆみ

淡路広域水道企業団では、平成28年度に水道事業ビジョン・水道事業経営戦略を策定し、高度経済成長期に整備された水道管や浄水場の老朽化が進む中、法定耐用年数を超えた水道管であっても、日々の点検やメンテナンスにより出来るかぎり長期の利用が出来るよう保守・改修を行ってまいりました。

また、水質向上のため浄水場設備の更新も推進しております。

しかしながら、更新時期を迎えている水道管は年々増加してきており、加えて本土導水より20年が経過したことから、今後導水設備の修繕や改修が増加することが予想されています。

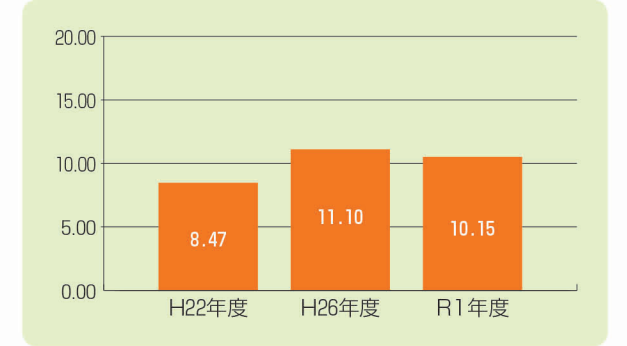
今後の課題

水道管は高度成長期に急激に整備され、その時に投資した水道管の更新時期が現在到来しており、水道管経年化率（法定耐用年数40年を超過した水道管の比率）は、今後も上昇すると見込まれています。

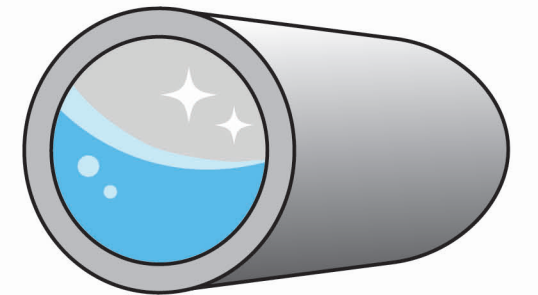
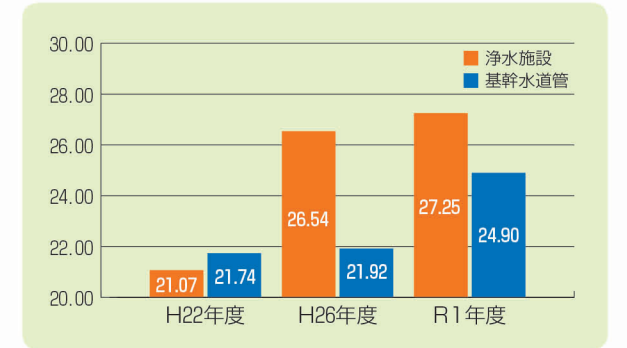
また、高度経済成長期に整備された水道管は耐震性が低く、災害時の安定給水に課題がありますので、耐震管による管路更新は順次行っていかなくてはなりません。

基幹水道管の更新は耐震管によって行っていますが、耐震適合性のある水道管の割合は約24.9%（全国平均：25.9%）にとどまっております。水道管の更新工事が効果的なものとなるよう計画性をもって更新事業を進めてまいります。

③ 水道管の経年化率 (単位：%)



④ 浄水施設・水道管の耐震化率 (単位：%)



経営戦略の見直しを行っています

安定給水の継続のため平成22年4月に淡路広域水道事業を発足し、島内水道を一元化することで財政基盤の強化を行いました。今後の水需要の低下や、施設更新に伴う費用増大等により経営環境は厳しさを増してまいります。

しかしながら、今後も本企業団は淡路島全域の水道事業者として、喝水にも耐え得る安定した水源を確保し、安心・安全な水の安定供給に努めるという使命を帯びており、そのために徹底した経営の効率化や健全化に取り組んでいかなければなりません。

淡路広域水道企業団では、平成28年度に策定した「経営戦略」をより実効性のある計画にするため、今年度に更新・見直しを進めており、効率的で健全な水道事業経営に取り組んでまいります。

